

令和4年度 まちの予算

令和4年度予算の概要をお知らせします

これまで、財政収支の改善に取り組んできた成果として、令和2年度決算では5年ぶりに基金保有高を増加させることができました。

こうした成果を踏まえ、新年度から、**定住促進施策**や、本町が持続的に発展するために必要な**社会資本整備**に計画的に取り組めます。

施策を計画的に展開し、「笑顔と活気あふれる持続可能なまちづくり」を着実に推進します。

各会計の予算額

会計名	令和4年度	令和3年度	比較	増減率	
一般会計	40億500万円	37億6,500万円	2億4,000万円	6.4%	
特別会計	国民健康保険	4億6,970万円	4億6,280万円	690万円	1.5%
	後期高齢者医療	5,520万円	5,210万円	310万円	6.0%
	介護保険	3億8,780万円	3億8,730万円	50万円	0.1%
	簡易水道	3億4,510万円	2億2,400万円	1億2,110万円	54.1%
	集落排水	1億8,270万円	1億9,040万円	△770万円	△4.0%
合計	54億4,550万円	50億8,160万円	3億6,390万円	7.2%	

全会計総額は54億4,550万円で、前年度と比べると3億6,390万円増加しています。主な増加要因は、一般会計における**持ち家住宅取得奨励金の拡充**などの**定住促進施策の推進**と**壮瞥中学校移転建替に向けた設計等**、**西いぶり広域連合が進める新中間処理施設整備の負担**などです。

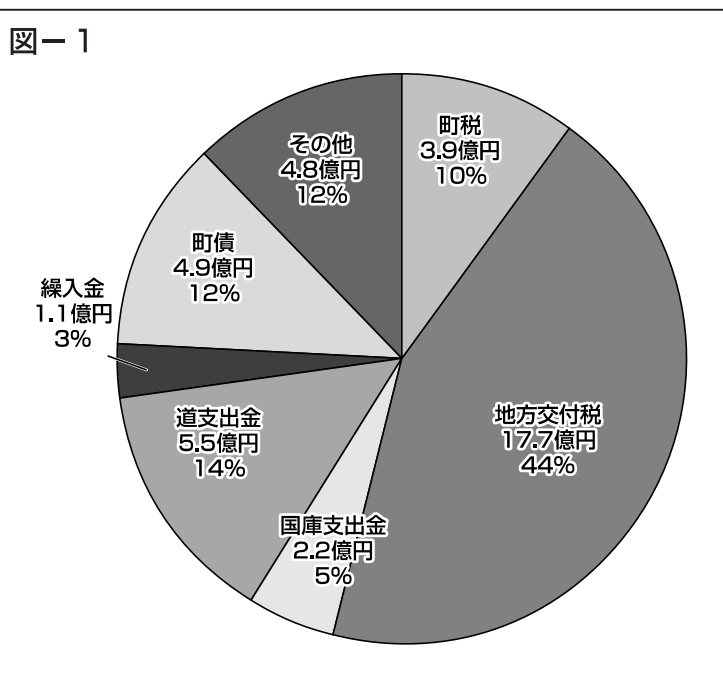
一般会計歳入（図-1）

町税は、新型コロナウイルス感染症対策の固定資産税の減免終了などにより、6,101万円増の3億9,401万円としています。

地方交付税は、近年の実績や国の動向を踏まえ、1億2,800万円増の17億7,000万円としています。

繰入金は、町の基金（貯金）からの取り崩しで6,934万円減の1億1,093万円で、財政調整基金の取り崩しは1,000万円減の7,900万円となりました。

町債は、壮瞥中学校建替事業の増加などにより、2億1,070万円増の4億9,230万円の借り入れを予定しています。



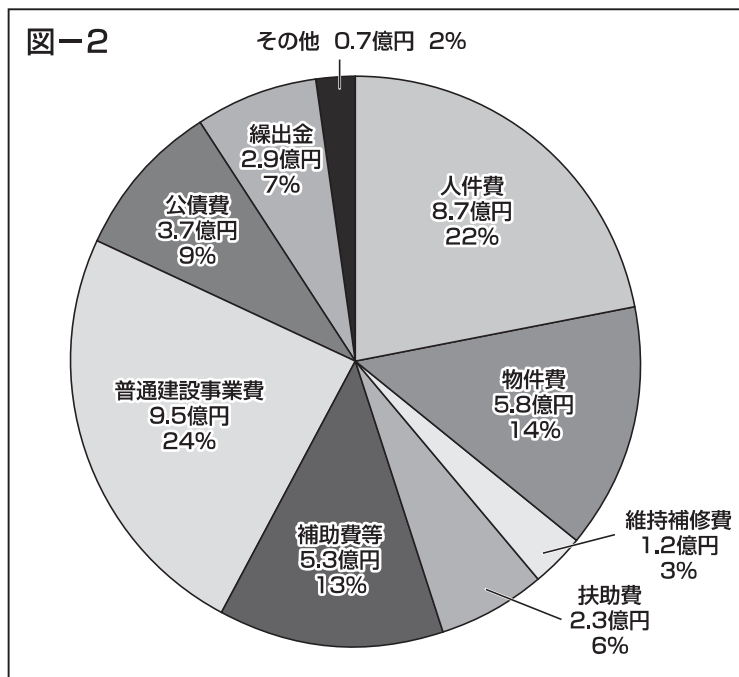
一般会計歳出（図一2）

右図は、性質別に歳出を分類したものです。

物件費は前年度から4,412万円増の5億7,639万円としています。

普通建設事業費は、大型事業の増加に伴い、前年度から1億8,815万円増の9億5,008万円としています。

公債費は、借り入れた町債の返済で、6,782万円減の3億6,687万円としています。返済額は平成25年度をピークに減少傾向にあり、「過疎対策事業債」の償還完了などにより減額となっております。

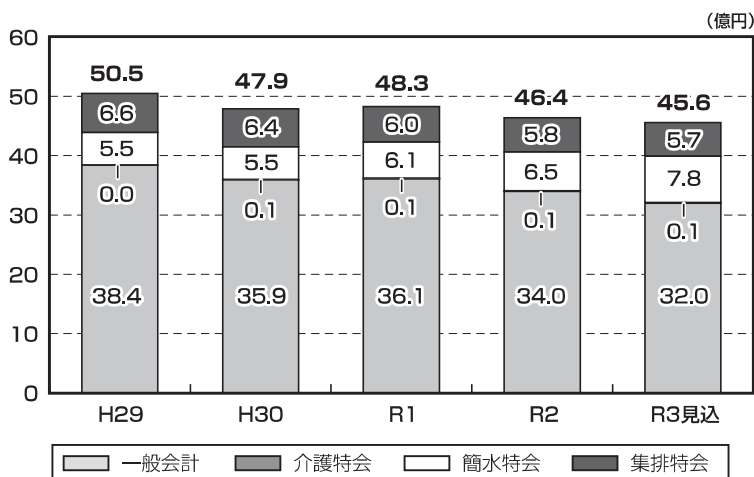


町債（まちの借金）残高の推移

町債残高は令和3年度決算では減少する見込みです。

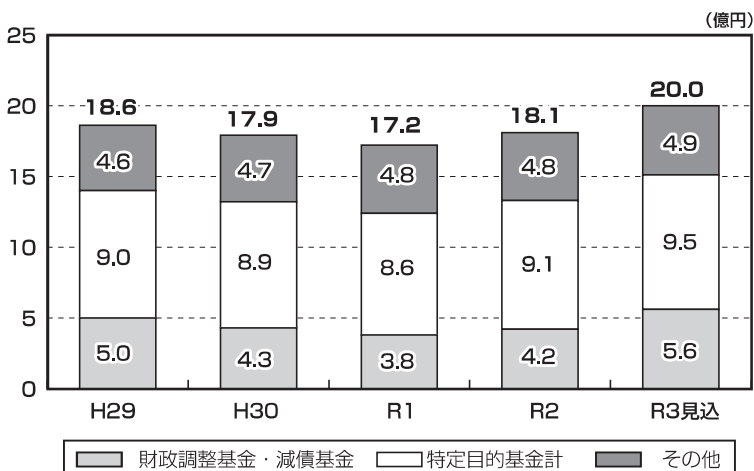
令和4年度以降は壮瞥中学校建替事業や新中間処理施設建設事業などの大型事業の実施とともに、国道や道道の水道施設移設事業の増などにより、増加することが見込まれます。

償還（返済）額の全部または一部が地方交付税として国から補てんされる有利なものを活用しています。



基金（まちの貯金）残高の推移

収支不均衡を財政調整基金の取り崩しで補てんする状態が続いていましたが、歳入の「確実な収入」、歳出では「充当可能な財源の調査と節減を徹底」し、執行状況の厳正な把握等に取り組んだことにより、不均衡は改善し、基金保有高は令和2年度以降、増加し、令和3年度も増加する見込みです。



本町が持続的に発展するために必要な施策を計画的に推進できるよう、安定的な財政基盤を確立し、将来を見据えた社会資本整備を推進します。

【お問い合わせ先】 壮瞥町役場企画財政課財政係（☎0142-66-2121）